

(記載例) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

計画の名称	1 常盤地区における防災のまちづくり			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成27年度 ~ 平成30年度 (4年間)	交付対象	益田市		
計画の目標					

常盤地区は、益田市の公共交通、文化、行政サービス、商業・業務機能などの都市機能が集約しており、本市の中心としての役割を担ってきた地区である。近年は、益田駅前地区第一種市街地再開発事業及び島根芸術文化センター「グラントワ」の完成のほか、都市計画道路中島染羽線の整備が進められており、本市における常盤地区の中心性や拠点性がさらに高まっている。しかし、地区内には現在でも老朽化した木造建築物が密集し、狭隘な道路も多く、避難路・避難地等の防災施設の整備が十分でないことから、地域防災計画で指定避難所に位置付けられている吉田南小学校の周囲における防災公園の整備や同公園における防災体験を行い、防災性と子供の安全性を総合的に向上を図る。

計画の成果目標 (定量的指標)

防災機能を備えた防災広場を整備することにより、災害時における避難者の収容人員の強化を行う。また、近隣小学校の児童に防災施設を体験してもらうことで、一次避難所の認知度の向上を図る。

定量的指標の定義及び算定式

常盤地区の避難場所収容人数の拡大  
 常盤地区の一次避難場所の収容人数 (収容人数は、短期の収容力 1人/1㎡で積算)  
 ・近隣小学校の児童に対する一次避難所の認知度の向上  
 防災施設 (かまどベンチ) を利用した防災体験の実施し、体験した児童数を集計する (防災体験を実施した児童数/近隣小学校の児童数)

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)	
0人	-	1150人	
0%	-	100%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	220.8百万円	A	220.8百万円	B	0	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	----------	---	----------	---	---	---	------	---	------	-----------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
1-A-1	防災	一般	益田市	直接	益田市	都市防災推進総合事業 (地区公共施設)	防災広場の整備 (1箇所:0.1ha)	益田市						220.8	-	-	
合計												220.8					

B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
小計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

(記載例) 社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成30年3月30日

計画の名称	1 常盤地区における防災のまちづくり	重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成27年度 ～ 平成30年度 (4年間)	交付対象	益田市
計画の目標	常盤地区は、益田市の公共交通、文化、行政サービス、商業・業務機能などの都市機能が集約しており、本市の中心としての役割を担ってきた地区である。近年は、益田駅前地区第一種市街地再開発事業及び島根芸術文化センター「グラントワ」の完成のほか、都市計画道路中島染羽線の整備が進められており、本市における常盤地区の中心性や拠点性がさらに高まっている。しかし、地区内には現在でも老朽化した木造建築物が密集し、狭隘な道路も多く、避難路・避難地等の防災施設の整備が十分でないことから、地域防災計画で指定避難所に位置付けられている吉田南小学校の周囲における防災公園の整備や同公園における防災体験を行い、防災性と子供の安全性を総合的に向上を図る。		

交付金の執行状況

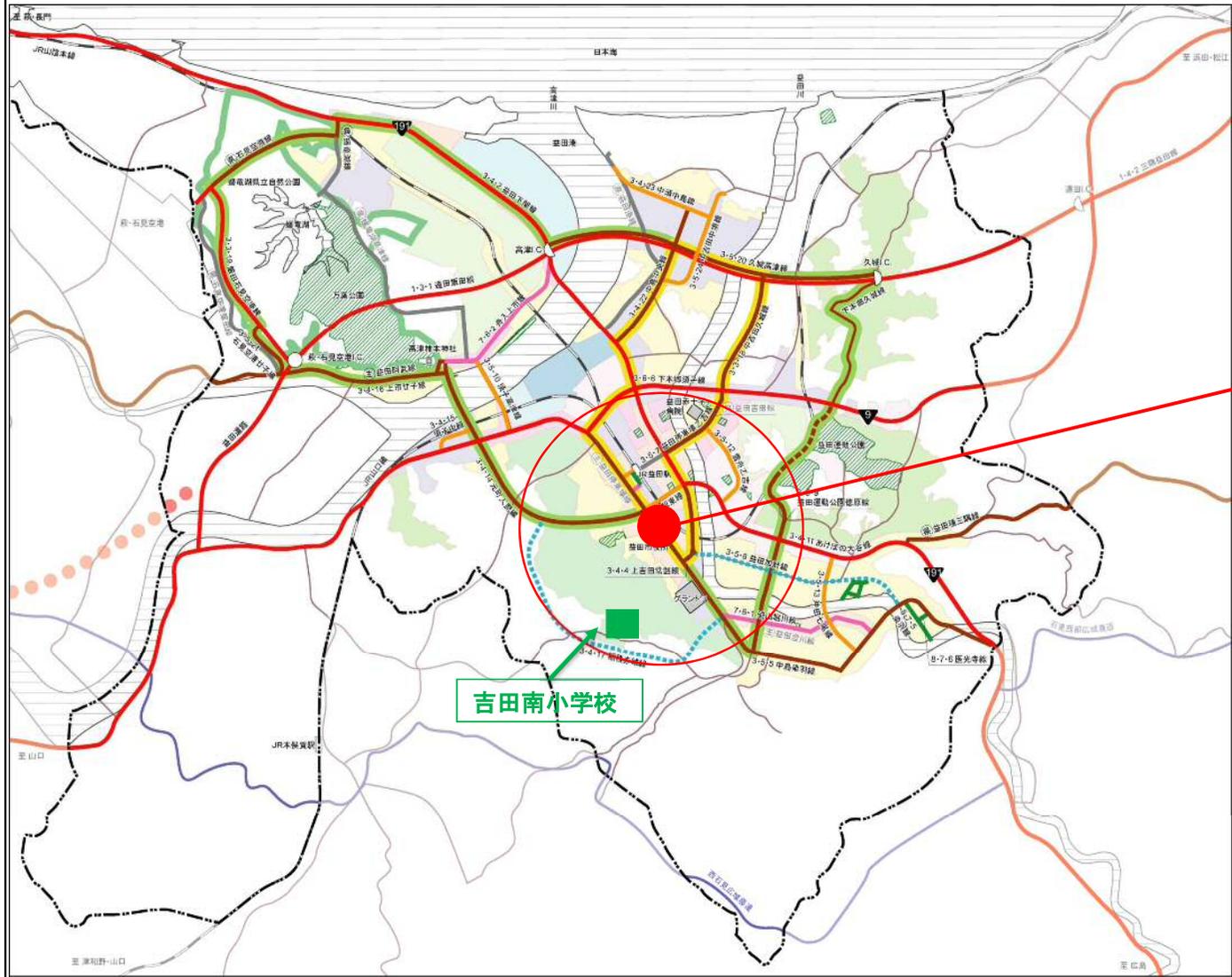
(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	10.0	22.4	28.2		
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0		
交付額 (c=a+b)	10.0	22.4	28.2		
前年度からの繰越額 (d)	0.0	9.1	2.7		
支払済額 (e)	0.9	28.8	28.4		
翌年度繰越額 (f)	9.1	2.7	2.5		
うち未契約繰越額 (g)	9.1	2.7	0.2		
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	91.0%	8.6%	0.6%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	補償処理の困難				

※ 平成30年度は、決算額が確定でき次第記載。

(記載例) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	1 常盤地区における防災のまちづくり	交付対象	益田市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成30年度 (4年間)		



1-A-1 都市防災総合推進事業(地区公共施設等整備)  
・防災広場の整備 1箇所

吉田南小学校